



# たから

～あいさつの響き合う家庭・学校・地域づくり～

## 「対話」を通して学ぶ多様な価値観・生き方

### （三中・1年生総合的な学習の時間「未来トーク」）

2月8日、三中の体育館で「未来トーク②」が行われました。今回で事業所の方とお会いするのが3回目となる生徒たちです。相手の方の顔と名前を覚えて楽しそうに対話する姿も見られました。

「自分の将来の生き方を考える」「境港を知り、愛着を持つ」というのが学習のねらいですが、そこには『愛される人に育ってほしい』という鈴木先生の思いがありました。生徒には地域の大人との対話を通して学んだことをこれからの生活に生かしてほしいと思いました。

～生徒の感想～

- 地域の人とはとても温かく優しくかった。経験したことはいつか役にたつということのを心にとめて過ごしたい。
- 今まで将来のことを深く考えることはなかったけど、未来トークを通して境港の良さに気づけた。
- 部活動での仲間との関わり方などのアドバイスをもらえたのがとても嬉しかった。
- 人との関わりや勉強など、今出来ることを全力でやっていきたい。



前のめりで話しを聞く生徒



相手の名前を呼んで会話をしている生徒



絵本選びのポイントなども参考になりました。

## 10分間の空間づくり（渡小）

今年度最後の「読み聞かせ」の後、ボランティアの方々との意見交換会を行いました。初めに山根校長より「子どもたちはいつもとても楽しみにしています。これからもどんどん学校に来て子どもたちと関わって下さい。」とお話がありました。ボランティアの皆さんからは、「絵本を見ながらお話を聴いているこの10分間は、児童も先生も物語の世界に引き込まれていくような時間にしたい。」と話されました。皆さんの朝の10分間にかかる熱い想いを感じた意見交換会でした。

## 学校に嬉しい電話

大雪が降った1月下旬の出来事でした。「今朝、雪で車が動けなくなっている所に、登校中の3人の三中生徒が車を押して助けてくれました。ありがとうございました。」と地域の方から三中にお礼の電話がかかってきました。さっそく校内放送でお礼の電話があったことを全校生徒に伝えました。このお礼の電話に先生方もとても嬉しそうで、職員室が温かい雰囲気になりました。わざわざ電話でお礼を伝えてくださった地域の方に感謝したいと思います。ありがとうございました。



文責：高梨 典子  
（地域学校コーディネーター）